

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 維持管理担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト				
事務事業名	港湾施設等アセットマネジメントの推進	継続	維持	維持	連絡先	052-384-4821	
目的	対象(誰・何を)	維持管理計画書を作成した名古屋港管理組合が所有・管理する施設			事業期間	平成25~26年度	
	意図(どういう状態にしたいか)	維持・更新費用の抑制や予算の平準化等を確保しながら、必要な性能、機能を回復させます。					
概要	平成24年度までに策定した港湾施設等の維持管理計画の内容を基に、利用率、重要度及び投資効果等を考慮し、港湾施設の計画的な更新・修繕の実施や更新・修繕費の平準化を図るため、補修スケジュールの作成を含む港湾施設等アセットマネジメント推進計画の策定を行っていきます。					根拠法令等	
26年度の実施予定	行財政改革計画の取組みの中でワーキング等を設置し、港湾施設等アセットマネジメント推進計画の内容について検討し、策定し、公表を行います。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
						関連シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した内容・結果	対象施設の維持管理レベルと補修優先順位の設定の手順を取りまとめ、施設毎に維持管理レベルと補修優先順位を決定しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(平成25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		0	0	0	
人件費	千円		23,652	29,951	53,603	
合計	千円		23,652	29,951	53,603	

3 CHECK(検証)

指標名	24年度	25年度	26年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
港湾施設等アセットマネジメント推進計画策定の工程(全6工程) (進行管理型)	目標		-	6	6	工程の完了した数: 手順策定と順位、レベルの決定及び補修スケジュール作成(①建築施設、②電気施設、③機械施設、④土木施設)、⑤PDCAサイクル確立、⑥説明・公表	
	実績		2	4			
	事業進捗状況(平成26年度)		順調・ <u>やや遅れ</u> ・遅れ				
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	推進計画策定の工程において、平成26年度の到達点である6(公表)までに至らず、やや遅れとなっています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	本組合が所有・管理する施設の維持管理費用が今後、増大していくことが予測される中、維持・更新費用の抑制や予算の平準化を行いながら、施設の港湾機能と安全性を確保していく必要があります。					
有効性 事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	港湾施設等アセットマネジメントを推進することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に資すると考えております。					
効率性 最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	必要最小限の人数で取り組んでおります。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
延伸	維持	維持	・推進計画策定の工程において、平成26年度目標の6(公表)まで至らなかったため。(26年度→27年度に延伸)
課題		27年度以降の取組	
港湾施設等アセットマネジメント推進計画のPDCAサイクルと、本計画実施の効果の検証方法について検討する必要があります。(H26→H27に延伸)		計画のPDCAサイクルと計画実施の効果検証方法を検討していきます。	